

授業科目名	幼児と造形表現		科目コード	204008	
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教諭	学 年	2 年
担当教員	外部非常勤講師		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)		
	実務経験内容 ・ 小学校教諭 3 年、中学校美術教諭 5 年をはじめ短期大学 2 校で造形関連教科を 12 年担当する。保育園から社会人までのワークショップ講師等多数。書籍「幻の小峰焼地域創生と教育・保育の視座」出版 ・ 宮崎学園短期大学 保育科 教授 ・ 近畿大学九州短期大学通信教育部非常勤講師				
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	15 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	造形表現 (指導法)			
	著 者	通信教育部			
	出版社	近畿大学九州短期大学			
使 用 テキスト 2	書 名	図画工作			
	著 者	通信教育部			
	出版社	近畿大学九州短期大学			
参考図書	幼児教育の研究 保育内容「造形表現」(株) 萌文書林 2016				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> ・ 子どもの描画発達と表現の特徴について学び、保育援助の本質となるそれぞれの子どもの発達段階に適した援助について理解する。 ・ 作品制作を通して創作の楽しさを体験することで、幼児の造形表現に寄り添い、成長を見守る保育者として必要な造形教育援助方法を身につける。					
<授業の概要・授業方針> ・ 幼児画の発達段階と特徴について資料を使った授業を行うことで、幼児期の発達に適した創作援助について理解を深める。 ・ 実際に作品制作を行うことで、子どもとの創作活動に役立つ様々な素材や表現方法の基礎知識と造形教育指導の実践的な習得を目指す。					
<成績基準・評価基準> ・ 成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：59 点以下 ・ 講義ごとの課題・提出物 70% ・ 作品の表現(発表)と鑑賞 (感想文含む) 30%					
<使用問題集・注意事項>					

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> 特になし		
授業科目名	幼児と造形表現	
	授業内容	備考
1	オリエンテーション	
2	幼児画の発達過程と特徴①	
3	幼児画の発達過程と特徴②	
4	幼児画の発達過程と特徴③	
5	紙版画制作①	
6	紙版画制作②	
7	紙版画制作③	
8	美術表現技法を使って「四季」をテーマにしたおもちゃを考える①	
9	美術表現技法を使って「四季」をテーマにしたおもちゃを考える②	
10	美術表現技法を使って「四季」をテーマにしたおもちゃを考える③	
11	美術表現技法を使って「四季」をテーマにしたおもちゃを考える④	
12	美術表現技法を使って「四季」をテーマにしたおもちゃを考える⑤	
13	美術表現技法を使って「四季」をテーマにしたおもちゃを考える⑥	
14	作品の発表・鑑賞	
15	まとめ、レポート・課題について	